

静岡「城すし」

第70回（44年） 山下彰

静岡音楽部同期会に行ってきました。われわれ昭和44年卒は70期だそうで、7（な）0（お）期（き）に例えて『仲音喜』とし、静岡音楽部仲音喜会というネーミングは部長の森君（パーカッション奏者）の発案です。音楽を通じ喜び（苦しみ）を共にした仲間たち、ということだそうです。さすが地元のすみや（楽器・レコード販売）に勤務した経験を活かした、良い名前を付けてくれました。3月の土曜日の夜、集まったのは静岡市紺屋町にある「城すし」。われわれの2年先輩（42卒）の大石城道さんが経営されているお寿司屋さんです。



スーザフォン

学生時代はチューバという低音楽器を吹かれています。静岡祭りの音楽パレードでは一番目立つ、肩で担いで吹くスーザフォンを担当されていました。当時からやさしい先輩で、しごかれた記憶もありません。

私が店に入ると「名古屋からご苦労さん。黒はんぺんのフライ、後で出してあげるから」と嬉しい一言が。私（クラリネット）と横浜から来た石椋君（ホルン）以外は地元に残ったメンバーで、普段からいやというほど食べているらしく珍しくもなんともない食材ですが、私には懐かしい味です。お寿司よりもご馳走でした。富士山湧水仕込の本醸造「城すし」の冷酒をいただきながら昔話に花が咲いたのですが、あっという間に時間が過ぎ、来年の再会を約束してお開きとなりました。大石先輩から「静岡割り（焼酎の緑茶割り）」と「トルネード（麦焼酎のわさび割り）」という飲み方があることを教えていただきましたが、次回に持ち越しとなってしまいました。

静岡にお帰りの際はぜひ、「城すし」をご利用になってください。カウンターのほか奥に座敷があります。靴をぬいで店内に入りますので落ち着いてゆっくりできます。この日も土曜日の夜でしたが満員でした。

＊ ＊静岡市紺屋町11-6 地産マンション1階 電話 054-253-6781 ＊ ＊
残念ながら、深夜かつほかのお客様がいらっしゃったため“波メロディ”は歌えなかったのが心残りでしたが、楽しいひと時が過ごせました。



編集後記

第76回（50年卒） 杉江律子

すっかり春らしくなり、わが家のハンギングの花も色付きを増し咲き乱れております。一年を通して春や秋など穏やかで過ごしやすい日が年々少なくなっているようです。激しい気象の変化、自然現象など私達を取り巻く環境の変化にも戸惑いを感じます。そんな中でも日々平和に過ごせることに感謝するとともに、人との関わりも大切にしたいと思います。私にとって中部支部の会員の皆さんとの出会いはある意味新鮮なものです。

さて中部支部の皆さん、その後お元気でお過ごしでしょうか？
一年はあっという間ですね！ 今年も5月の総会・懇親会で皆さんにお目にかかることを楽しみにしています。

ひとりでも多くの方のご参加お待ちしております。

裏面もご覧下さい